

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	物産振興事業			事業コード	1283
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	田村 信昭	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	魅力あふれる物産の振興	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 2目 物産振興事務(010-01) 一般会計 7款 1項 2目 岩手県産業貿易振興協会補助事業(011-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和26年度～)		
事務事業の概要	特産品の販路拡大等振興を行うために、国際振興会(ジェトロ)、岩手県産業貿易振興協会等の活動を支援し、各種物産展に参加するなどして、地場産品の県内外への宣伝、各種物産展への出展を行い、物産販路の拡大と振興を図るものである。					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
地場産業の振興を図るために、県内外や海外への販路開拓と市場拡大を行う必要があったため。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特産品事業者は、物産展への期待が強く、物産展の開催日数を確保するよう要望されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
国内景気の低迷、経済の不活性化、類似商品の輸入の増加、岩手県の施策の変更などが影響を及ぼすと考えられる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	特産品製造販売業者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市特産品振興協議会会員数	単位	事業所
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>事業者に販路拡大等に係る情報提供等を行い、岩手県産業貿易振興協会への負担金を拠出し協議会主催の研修会や物産展に参加し、県内外、国外に地場産品の普及、販路拡大を図るものである。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>事業者に販路拡大等に係る情報提供等を行い、岩手県産業貿易振興協会への負担金を拠出し協議会主催の研修会や物産展に参加し、県内外、国外に地場産品の普及、販路拡大を図るものである。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 講演会・セミナーの開催回数	単位	回
				B. 各種物産展への参加回数	単位	回
				C. 特産品業者に対する情報提供数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市内の特産品販売業者に販売情報及び物産販路の拡大の機会を提供することにより、顧客である観光客の増加を図るものである。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 盛岡市の物産と観光展、産業まつり、大いわて展の物産販売額 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	千円
				B. 観光客入込数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	万人
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	特産品が創出され、育成される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	特産品の取扱高(盛岡市特産品振興協議会会員企業)(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市特産品振興協議会会員数	事業所	103	103	110	101	110	110	24年度 110
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	講演会・セミナーの開催回数	回	13	15	15	14	15	15	24年度 15
活動 指標B	各種物産展への参加回数	回	8	7	7	6	7	7	24年度 7
活動 指標C	特産品業者に対する情報提供数	回	27	30	30	28	30	30	24年度 30
成果 指標A	盛岡市の物産と観光展, 産業まつり, 大いわて展の物産販売額	千円	282,005	275,817	280,000	166,631	280,000	280,000	24年度 280,000
成果 指標B	観光客入込数	万人	472	459	460	444	472	478	24年度 478
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,833	2,860	2,856	2,856	2,836	2,836	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2,833	2,860	2,856	2,856	2,836	2,836	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,833	2,860	2,856	2,856	2,836	2,836	*****
	延べ業務時間数	時間	152	152	152	152	152	152	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	608	608	608	608	608	608	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,441	3,468	3,464	3,464	3,444	3,444	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 特産品の販路拡大が、盛岡市の知名度を上げ、結果として観光客入込み数の増加に結びつくため。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 県及び県単位の団体の活動を支援・協力・協同することにより、市単独ではできない活動及び成果を上げることができるため。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象は特産品製造事業者に限定することが効果の最大化を図ると考えられるため。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 現在の事業を継続することにより、効果が現れることから変更はできないと考えるため。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 機会を捉えて特産品の開発普及を図るとともに、継続的な開催とイベントの強化を図ることで集客効果は高められると考える。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 各市町村が実施している物産展があるが、県レベルのものではなく、廃止した場合、現行の特産品の紹介や販路拡大に影響を及ぼすことが想定される。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 事業実施効果の低い事業の見直し等が考えられるが、実施団体及び各市町村との調整が必要である。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	理由: 最小限度の人員で実施していることから削減は難しい。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: より多くの物産展への積極的な参加により受益機会が増える。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	その内容: 既に受益者負担は行われていることから公平・公正であると考えられるため。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 現状どおりとするものの、本事業の成果が実施団体の取組によることから、機会を捉え、より効率的な事業展開ができるよう助言する。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 外部より提供された各種セミナーや物産展の案内等の特産品事業者へ紹介し、効率的な事業展開が図られるよう助言した。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>事業実施団体, 他市町村との連携により, 特産品の情報提供と販路拡大が図られ, 観光客入込みにも貢献した。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>事業の成果が事業実施団体の取組によることから、より効率的な事業展開ができるよう助言する。</p>														